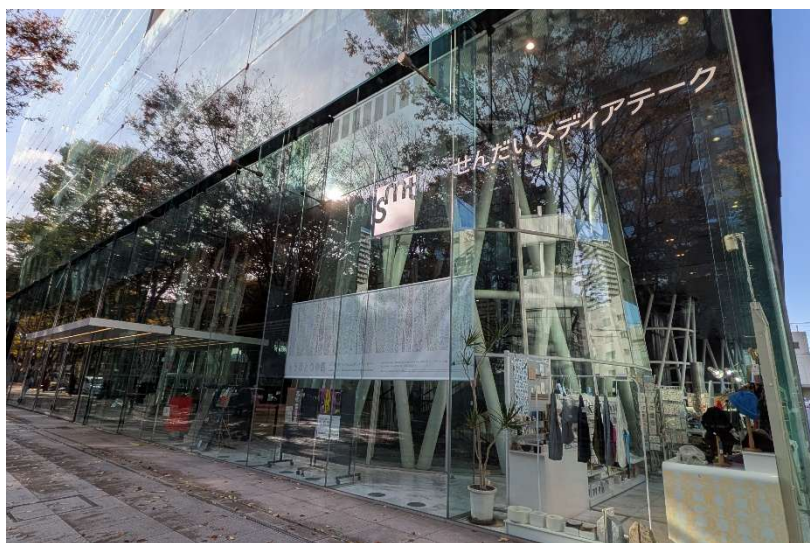


<仙台市健康福祉局地域包括ケア推進課 様>

上映日：2026年01月23日（金） 場所：せんだいメディアテーク スタジオシアター（宮城県仙台市青葉区）



市民の皆様へ「新しい認知症観」を広げ、共生社会を考える機会になったと実感

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

昨年度に職員研修として実施した「オレンジ・ランプ」上映会と当事者によるアフタートークで、新しい認知症観の理解促進に効果があることを確認できました。
そこで今年度は、新しい認知症観を広げるとともに、認知症当事者の視点から誰もがよりよく生きられる共生社会について考える機会とするため、市民向けに上映会とアフタートークを実施しようと考えました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

地域包括ケア推進課で認知症施策を担当する職員です。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

昨年度の上映会で共催いただいた団体に共催を依頼し、当日は調整室においてBlu-rayの再生等、上映に係る技術的支援を行っていただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

地域支援事業交付金を活用し捻出しました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

市政だよりに掲載しました。
また、地域包括支援センター、区・総合支所、認知症疾患医療センター等に周知への協力を依頼しました。
併せて、チラシを市民センター、図書館等の公共施設に設置しました。

●上映会当日の様子や反響を教えてください。

映画だけでなく、アフタートークで当事者の話が聞けて良かったという感想が多く、「私たちと一緒に歩んでほしい」という一言が心に残りました
「『できないところだけ助ける』ことが大事だと分かりました」
「当事者抜きの支援は本人のためと、思っているだけ。心配より信用すること」など、多くの反響が寄せられました。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

市民の皆様から大きな関心をお寄せいただき、参加者からは感謝の言葉や次回開催を期待する声が多く寄せられました。
事業の成果を実感するとともに、今後の事業実施に向けた大きな励みとなりました。
また、「新しい認知症観」を見る人の感情に働きかけ、認知症観を広げられる映画だと実感しました。
認知症当事者の視点から誰もがよりよく生きられる共生社会づくりを考える機会となったと感じます。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

上映を通じて参加者の皆様に新たな気づきや学び、感動をお届けできることは大きなやりがいにつながります。
上映会は、作品を鑑賞するだけでなく、地域の皆様が同じテーマについて考える貴重な機会にもなります。
ぜひ多くの方々にその魅力を届けていただければと思います。

ご担当者：鎌田さん